

① ガス給湯器の凍結防止機能

外気温が下がると自動的に凍結防止機能が働きます。

凍結予防ヒーター 給湯器内蔵のヒーターで水通路部を温め、凍結を防ぎます。

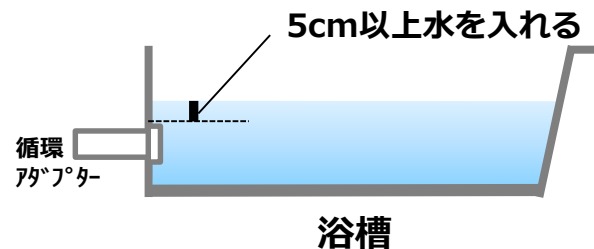
自動ポンプ運転 追焚き用ポンプを自動運転させ、ポンプ内の凍結を防ぎます。



電源プラグが差さっていることを確認！
(抜けていると、ヒーター・ポンプとも作動しません)



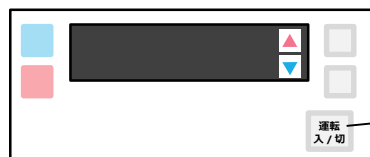
給湯器の残り湯はそのままにし、浴槽内の循環アダプター
上部より5cm以上ある状態にする (自動ポンプ運転)



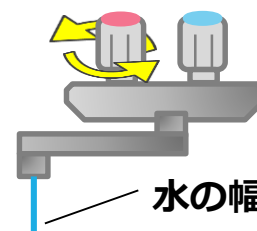
② ガス給湯器周辺の配管の凍結予防方法

- 【手順1】
- ・リモコンの運転スイッチを『切』にする (リモコン有りの場合)
 - ・ガス栓を閉める (リモコン無しの場合)

【手順2】 お湯の出る蛇口から1分間に400ミリリットル (水の幅が4mm)の水を流し続ける

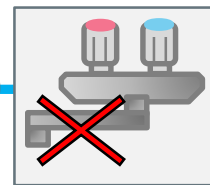


給湯器 リモコン





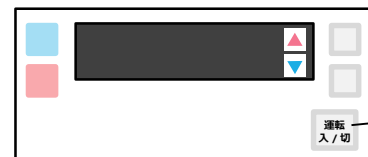
寒い日にお湯や水が出なくなった場合



寒い日はガス給湯器内の水が凍結してお湯が出なくなることがあります。

お湯が出なくなった場合の対処方法

① リモコンの運転スイッチを『切』にする。



『切』にする

給湯器 リモコン

② 気温の上昇で配管が自然に解凍するのを待つ。

※配管が損傷するため、熱湯をかけたりドライヤーで解凍しないでください。



③ ガス給湯器や配管から水が漏れていないかを確認する。

解凍した後も給湯器をご使用できない場合は、
金沢エナジーのコールセンターまでお問い合わせください。



0570-001874

受付時間：9:00～18:00 (休業日 1月1日～1月3日)

積雪によりガス給湯器が埋もれた場合

積雪によりガス給湯器の給排気口が埋もれたり排気筒が折れたりすると、ガスの給排気が正常にできず、機器の不完全燃焼や異常燃焼により、一酸化炭素中毒や機器故障のおそれがあります。

雪が積もった場合のチェックポイント

- ☑ 積雪によってガス給湯器本体や給排気口が埋まっていますか？
- ☑ 屋根雪によってガス給湯器や風呂がまの排気筒が折れたり外れていませんか？

ガス機器や配管に注意し、除雪をお願いいたします。

